



● 今月の主な内容

麦秋カフェ	2		
平成26年度 佐賀市の予算概要・主な事業	4		
写真で見る地域情報	6		
旧森永家住宅と旧久富家住宅の活用者決定	8		
民生委員・児童委員をご存じですか？	10		
おしらせ	26	こどものページ	32
イベント案内	36	5月の相談コーナー	38
かわそえ佐賀田園の里ギャラリー企画展 世界遺産フェスタ2014	40		

麦秋カフェ実行委員の皆さん
(カフェ発足当時のメンバーです)

麦秋カフェ

今年で3年目を迎えた麦秋カフェ。川副町の雄大な自然に溶け込み、ゆったりとしたひとときを過ごしてみませんか。詳しくは次のページをご覧ください。



麦秋カフェ

「麦」に「秋」と書いて「ばくしゅう」と読み、辞書で意味を調べると、「麦を収穫する季節。初夏のころ」と書いてある。

皆さんは、川副町の広大な麦畑の中に、5月に2日間限定で開かれる麦秋カフェをご存じだろうか。

麦秋カフェが立ち上がったのは3年前。

麦秋カフェ実行委員の江島政樹さんは、カフェ発足当時のようすをこう話す。

「初めは、佐賀市南部地域の農業者や漁業者、商工会の人たちが集まって、佐賀市南部地区の魅力や、今後どのように発信していこうかと協議していました。話し合いをする内に、佐賀市南部といえば、有明海が佐賀平野を軸にPRしていくのがいいだろうという話になり、最終的に、麦が黄金色に輝く時期に麦秋カフェをやるという結論に達しました。」

黄金色に実った麦をざっくりと刈り取った自然の空間にたたくむ麦秋カフェ。毎年80人限定のカフェで、佐

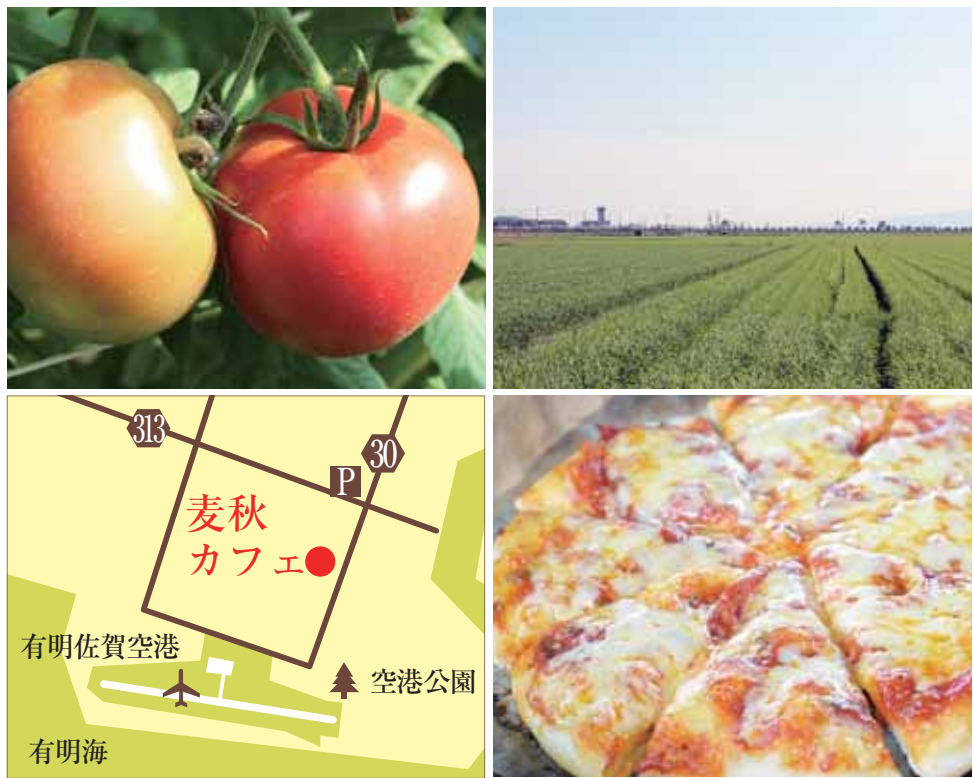
賀県産の農作物を自分でトッピングしたピザを食べたり、ドリンクを飲んだりして楽しめる。また、地元野菜市やミニコンサートも開催される予定だ。

「毎年、多くの参加者から良い評価をいただき、本当にありがたいです。」と江島さん。

江島さんは、昨年以上に来場者に満足してもらえるような「しかけ」を考えているようで、開催が非常に楽しみだ。

最後に江島さんは、市報の読者へ、「ぜひ麦秋カフェに足を運んでみてください。普段の生活ではなかなか味わえない非日常の空間がお待ちしています。農業に興味のある人はもちろん、興味がない人にも、農業の現場をみてもらいたいですし、自然の素晴らしさを体感してもらえれば幸いです。」と熱いメッセージを語ってくれた。

黄金色に染まる麦秋の美しい景観の中で風を感じ、ひばりの声を聴きながら、今しかないこの季節感を体感し心を癒してみたいか。



■日時

・5月17日(土)
10時～12時、
13時～15時
・5月18日(日)
10時～12時、
13時30分～15時30分

■場所

川副町大字犬井道5895

■料金

・大人(中学生以上)
ひとり2,000円
・子ども(小学生)
ひとり1,000円
※料金の中には、
麦秋ピザ(トッピング体験)+
ドリンクが付いています。

■定員

各回先着20人

◎申し込み・問い合わせ

(一社)佐賀市観光協会
☎20・2200



ボランティアスタッフ募集

雄大な自然の中でイベントを一緒に盛り上げませんか。

■対象 どなたでも ■定員 なし

■申込方法 電話で申し込みください。

■申込期限 5月9日(金)

※勤務時間等、詳しくはお問い合わせください。

◎申し込み・問い合わせ

江島 政樹 090・7923・0107



江島 政樹さん

企画・編集

本庁 秘書課 広報係 ☎40・7021 FAX 24・3463